

2021年 里山づくり隊だより 2月号

里山づくり隊は■里山景観の整備■希少植物の花育て■オオムラサキの飼育など
甘樫の丘の景観保全とそこに生物多様性を生み出すボランティア活動に取り組んでいます

2月7～9日、冬の恒例行事「炭焼き」を実施しました



炭焼きは、里山づくり隊が甘樫の丘で行う最も大きな行事です。今年は新型コロナウイルス感染予防のため、例年のような一般イベントではなく、クラブの全体活動としての実施となりました。

2日(火)の定例活動日は、全員で原木の窯入れ作業を行いました。今回の炭焼きに向けては、昨年末「炭焼き研究会」を新たに設け、窯開設以来の毎年の結果を整理して、技術や経験を受け継いでいく取り組みを行ってきました。



←窯閉塞用の粘土(ねこ)の準備

原木やバイタ(枝)の詰め込みを終え、窯をレンガで閉塞→



7日(日)早朝、いよいよ炭焼き本番。窯に火が入りました。点火後は、窯内部の燃え具合に絶えず注意をはらうとともに、上部の小穴の閉鎖や煙突からの煙の様子やその温度の計測など、期間中は状況に応じた対応が必要です。今回は三日目の9日(火)夕方窯を閉鎖し、炭焼きを終了しました。



炭焼き翌週の定例活動日16日(火)は、クヌギ育成林周辺の下草刈り、エノキの手入れ、園路や苗場の整備など、各グループで近づく春に向けての通常の活動を再開しました。

